

# 地域政策入門

## —地域と暮らし—

主催：岩手大学人文社会科学部

後援：岩手県教育委員会

盛岡市教育委員会

### 1、開講にあたって

本学人文社会科学部では、平成28年度に法・経済・環境の視点から持続可能な社会づくりのための課題に取り組み、地域社会に貢献できる人材の育成を目的とする地域政策課程を設置しました。本課程は、これまでの法学・経済課程と環境科学課程の教育を統合し、地域マネジメント、地域創生をキーワードとする教育・研究を行っていきます。本公開講座は、高校生・一般市民を対象に、新設した地域政策課程での教育内容の一端を紹介し、広く本課程を周知されることを目的として開催します。本年度は「地域と暮らし」をテーマとして、法学・経済学・環境学の3分野から話題を提供します。

2、日 時 平成29年7月29日（土）13:00～16:00

※詳しいスケジュールは、裏面をご覧ください。

3、場 所 岩手大学 図書館2階 生涯学習・多目的学習室

4、受講対象者 高校生（主対象）・一般市民 50名

5、受講料 無 料

6、その他 講座の形式は、講師による講義と質疑応答、および、受講生も含めた総合討論です。筆記用具を持参して下さい。

7、受付期間 平成29年7月3日（月）～7月25日（火）

※学校毎に取りまとめて頂いても結構です。その場合は参加者の氏名（ふりがな）と学年、あわせて担当の先生のご氏名と連絡先をお知らせ下さい。

### 8、【申込方法・お問合せ先】

受講ご希望の方は、下記まで郵送、FAX、Eメール、電話のいずれかでお申込み下さい。

岩手大学 三陸復興・地域創生推進機構 地域連携・COC推進課

電話 019-621-6492 FAX 019-621-6493 Eメール [renkei@iwate-u.ac.jp](mailto:renkei@iwate-u.ac.jp)

### 申 込 票

(H29 地域政策入門)

ふりがな 氏 名	学校名	年
住 所 〒		
TEL : FAX :	E-mail	

## 講義内容

●13:00~13:05 はじめに—開講にあたって— 笹尾俊明（地域政策課程長）

●13:05~13:50 「地域の雇用・労働と法政策—ワーク・ライフ・バランスの観点から」 河合壘（労働法・准教授）

最近の地域での雇用・労働政策は、「法に基づき国が大きな政策を立て、それを踏まえて地域がそれぞれ政策を立てて遂行する」という仕組みが、特に雇用創出などの分野では一般化してきています。

さてそのような政策の中で、近年強調されているものの1つが、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」です。もっともこの概念は、たしかに素晴らしいことのように思えますが、反面、意外と基本的な部分があいまいなまま、やたらと用いられてしまっている部分もあります。

ワーク・ライフ・バランスとはそもそも何なのかという基本的な部分に立ち返って、何か忘れられているものはないか、何を目指していくのかなど、一緒に考えていきましょう。

●13:50~14:35 「三陸の漁村コミュニティから見た地域の現状と今後」 杭田俊之（理論経済学/三陸復興・准教授）

今日の日本社会では人口減少局面に入り、私たちの社会の将来の姿、特にその持続可能性について強く意識させられる時代になりました。地方における人口減少や都市と地方との格差、政策対応としての地方創生の取り組みなど考えるべき問題は山積しています。

今回は岩手県釜石市の漁村コミュニティを事例として取り上げますが、沿岸漁業という一次産業を主としたなりわいによって成立してきた地域の現状と課題をみなさんと一緒に考えていきます。かつて製鉄業と水産業で発展した地域のなかにあって、時代の変化、経済環境の変化とともにどのような状況に直面しているのか検討します。

今回の講座では、漁村コミュニティに現れている諸問題を限界的な（他所の）地域の問題ということではなく、日本社会の抱える縮図、私たちの「自分事」として考えられないかという問題意識をもってお話ししたいと思っています。

●14:35~14:45 休 憩

●14:45~15:30 「身近な化学物質と地域の水環境」 寺崎正紀（環境化学・准教授）

私たちの日常生活において、医薬品は非常に身近な「化学物質」です。近頃は、ネットやコンビニで気軽に購入できるため、年齢・性別を問わず医薬品を手にする機会が増えていると思います。では、私たちが医薬品を服用したあと、その「化学物質」は一体、どこへ行くのでしょうか？

答えは水環境に隠されています。水環境は、その時代の暮らしや地域の社会活動と密接に繋がっています。例えば、東北最長の河川である北上川は、現在、流域人口約130万人を抱え、地域の生活圏に深く関わっているほか、発電、サプライチェーンや農畜産業との結びつきも強いです。

近年、北上川では新たな水質汚染として医薬品による影響が懸念されています。化学物質から見た北上川の水質の時代的变化を知り、私たちの暮らしと地域の水環境の未来に触れていきます。

●15:30~16:00 質疑応答・総合討論

\*\*\*\*\*

### 【会場案内図】

